

# 濟州島 常綠潤葉樹의 再檢討와 濟州島內

## 地域別 分布調査

吳 相 哲

目 次	
I 序 論	III 氣 候
II 調 査 方 法	IV 濟州島 常綠潤葉樹目錄
1 調 査 期 間	V 常綠潤葉樹의 問題種
2. 調 査 地 域	VI 濟州島 常綠潤葉樹의 地域別 分布
3. 調 査 方 法	VII 結 論

### I 序 論

濟州道는 우리 나라의 西南海上에 位置한 1,819.97km<sup>2</sup>의 큰 섬으로 周圍에 37個의 크고 작은 섬을 거느리고 있으며 中央에 海拔 1950m의 漢拏山이 솟아 있어서 暖帶 溫帶 寒帶의 代表的인 1,800餘種의 植物이 分布하고 있는 우리나라 植物의 寶庫이며 90餘種의 常綠潤葉樹가 自生하고 있어서 南部 島嶼地方을 代表하는 暖帶材의 溫床이다.

우리나라 主要 島嶼의 Flora에 對해서는 Nakai (1914), Ishidoya, 鄭台鉉 (1923) Mori (1928) 朴萬奎 (1949), 李德鳳 (1957, 1958), 李永魯 (1957) 諸氏가 報告한 바 있고 常綠潤葉樹의 分布에 對해서는 Uyeki (1941), 朱尙宇 (1957), 李一球 (1972) 諸氏의 報告가 있으며 氣候條件과 樹種의 分布에 對해서는 任良宰 (1970), 楊麟錫, 金源 (1972) 諸氏가 報告한 바 있다.

溫帶 季節風氣候에 屬하는 濟州道는 常綠潤葉樹의 自然分布地域으로 地理的 條件과 氣候的 條件을 兼備한 最適의 自然條件을 갖추고 있으면서 常綠潤葉樹는 먼 옛날부터 道民의 生活와 密接한 關係에 있었다. 海岸線에서 부터 海拔 600m 사기에 常綠潤葉樹가 가장 많이 分布되고 있는데 이 地域은 自然部落이 密集되어 있고 農耕地와 草原地가 있어 住民의 衣食住 生活에 여러面으로 利用되어 오는 地域으로서 常綠潤葉樹의 人爲的인 被害는 오랜 옛날 부터 始作되어 왔고 家屋의 울타리를 兼한 防風樹로서 많이 利用되어 왔다. 오래前부터

住民들에 의해 행해진 濫伐과 採取 및 剝皮, 1948년에 일어난 四·三事件 當時 一周道路邊의 樹種伐採, 解放以後 海拔 1,300m 地域까지 올라간 표고栽培場, 近來에 와서 행해진 漢拏山 自生常綠潤葉樹種을 街路樹로 利用하는 등이 本道の 暖帶林에 直接的인 被害를 주어왔다. 濟州道 地域社會의 發展에 따른 多様な 産業의 發達과 1975년에 發表되어 2,785,000,000 원이 投資되는 濟州道 觀光綜合開發計劃에 따르는 多大한 事業들이 溪谷이나 河川 또는 農耕地로 利用이 不可能한 中山間 地帶의 畝等地에 點在的으로 密集되어 殘存되고 있는 常綠潤葉樹林에 直接 間接으로 被害를 줄 것으로 憂慮된다.

이러한 時點에서 濟州島所產 常綠潤葉樹의 目錄을 再檢討하고 濟州島內 地域別 分布를 調査하여 濟州島 常綠潤葉樹의 分布圖를 作成하는데 學術的인 資料로 삼고자 하였고 植物資源의 保護와 耐公害樹의 開發 및 地域社會 開發計劃과 漢拏山 自生樹種의 繁殖에 參考資料로서 報告하는 바이다.

本 論文 作成에 文獻을 提供하여주신 朴萬奎博士님과 朱尙宇先生님께 感謝드리며 中央觀象台 濟州測候所의 氣象資料를 整理하여 준 濟州教大 生物研究室 助教 李英子嬢과 西歸浦測候所의 氣象資料를 整理하여준 濟州教大 生物研究班 學生 吳美生嬢에게 感謝한다.

## Ⅱ 調查期間 및 方法

### 1. 調查期間

1974年 3月 1日부터 1975年 3月 31日까지 13個月間

- 1) 文獻調査 1974 年3月 1日~1974年 3月 31日
- 2) 目錄檢討 1974年 4月 1日~1974年 4月 30日
- 3) 採集實施 1974年 5月 1日~1975年 2月 28日
- 4) 氣象資料 1975年 3月 1日~1975年 3月 2日
- 5) 論文整理 1975年 3月 3日~1975年 3月 31日

### 2. 조사地域

濟州島 全域을 對象으로 한 62個 地域

[1] 海岸地帶 (海拔300m 以下地域)

- 1) 西歸邑 13個所

- 2) 南元面 8個所
- 3) 表善面 2個所
- 4) 城山面 3個所
- 5) 舊左面 3個所
- 6) 朝天面 2個所
- 7) 濟州市 7個所
- 8) 涯月面 1個所
- 9) 翰林邑 0
- 10) 翰京面 1個所
- 11) 大靜邑 0
- 12) 安德面 5個所
- 13) 中文面 4個所

[2] 中山間地帶 (海拔300m에서 600m 사이)

- 1) 第一橫斷路 3個所
- 2) 第二橫斷路 0

[3] 漢拿山地帶 (海拔600m 以上)

- 1) 山과溪谷 5個所
- 2) 登山路 5個所

合 計 62個所

### 3. 조 사 방 법

① 現在까지 發表된 濟州島産 常綠樹 및 常綠潤葉樹目録과 植物目録2篇을 調査檢討하고 常綠潤葉樹만을 綜合하여 濟州島産 常綠潤葉樹目録을 作成하였다.

② 綜合作成된 目録을 가지고 濟州島 全域에 對해서 地域別로 採集을 實施하여 分布를 調査하였다.

③ 筆者의 目録은 地域別로 採集確認된 樹種이고 調査期間의 制限으로 未確認種에 對해서 는 地域別 採集을 繼續하여 濟州島 常綠潤葉樹의 分布圖에 補充하였다.

### Ⅲ 氣 候

濟州道の氣候는 漢拏山の 南쪽과 北쪽이 甚한 差異를 보이며 四季節을 通하여 海洋性 氣候에 屬하고 氣溫은 西歸浦가 年平均 15.5°C 濟州市가 15.2°C로 봄과 여름에는 南西 季節風이 불고 太平洋 南支那海의 水蒸氣를 漢拏山이 가로막아 年間 1500mm 内外의 降雨量을 보이며 늦가을과 겨울에는 北西 季節風이 滿州支那의 大陸性 氣候의 影響을 받아 서리와 눈이 내리고 强風이 분다.

本 氣候調査表는 濟州島에 中央觀象台가 設置된 以來 濟州市는 1931年 1月 부터 1974年 12月 까지 44年間의 統計를 냈으며 西歸浦는 1962年 1月부터 1974年 12月까지 12年間의 統計를 調査하였고 城山浦와 大靜은 1972년부터 1973년까지 2年間의 統計이다.

#### 1. 平 均 氣 溫 (°C)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
濟州市	5.0	5.2	8.1	12.9	15.2	30.5	25.4	26.8	22.2	12.1	12.2	7.5	15.2
西歸浦	5.9	6.4	9.1	13.8	17.6	20.4	24.8	26.6	23.0	17.8	13.0	8.3	15.5
大靜	7.4	8.5	13.4	17.6	21.7	23.5	23.2	21.8	18.2	13.2	10.1	7.6	15.5
城山浦	7.8	6.0	8.9	13.9	17.0	20.7	25.4	26.2	21.8	16.8	11.7	6.9	15.3

#### 2. 平 均 最 高 氣 溫 (°C)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
濟州市	11.6	12.1	19.5	20.9	24.2	28.4	30.9	31.8	28.4	23.4	19.1	14.4	21.8
西歸浦	9.8	10.2	13.3	17.3	21.2	23.4	27.2	29.7	26.7	22.3	17.4	12.3	17.6
大靜	11.1	11.8	17.1	20.8	25.2	26.6	26.6	24.4	21.7	17.1	13.4	10.9	18.9
城山浦	10.7	9.1	12.7	17.7	20.4	24.1	28.0	29.1	25.3	20.9	15.9	10.5	18.7

#### 3. 平 均 最 低 氣 溫 (°C)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
濟州市	-0.05	0.5	1.8	6.4	10.2	15.5	20.4	21.5	16.6	10.8	5.8	2.3	9.2
西歸浦	2.4	3.0	4.8	10.2	13.9	17.3	22.6	23.7	19.5	13.9	9.8	3.7	12.6
大靜	3.4	4.5	9.2	13.9	18.0	20.5	20.2	17.7	14.0	8.8	6.2	4.0	11.7
城山浦	4.5	2.6	8.6	9.6	12.6	17.4	22.9	23.2	18.1	11.5	7.2	3.0	11.5

## 4. 平均降水量(mm)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年 總
濟州市	71.5	68.5	65.5	92.5	91.6	156.6	220.6	229.2	206.6	75.9	73.5	57.4	1,405.5
西歸浦	70.8	60.8	87.4	194.4	224.3	258.9	288.6	165.7	133.1	59	120.3	109.6	1,772.9
大 靜	127.5	73.0	64.4	132.8	164.5	187.3	228.3	124.7	125.5	71.5	85.2	40.4	1,419.2
城山浦	161.2	155.8	62.7	162.3	217.5	185.8	214.8	221.8	158.8	193.5	157.3	78.5	1,863.9

## 5. 平均濕度(%)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
濟州市	68.8	69.4	67.3	73.3	75.3	79.8	81.8	80.5	78.5	73.5	69.2	68.4	73.9
西歸浦	66.2	67.2	64.5	74.1	75.3	88.6	88.9	82.1	74.9	68.5	68.1	67.2	73.8
大 靜	68.0	69.0	68.8	75.0	76.5	77.0	77.0	77.5	72.5	65.0	64.0	65.0	71.5
城山浦	71.5	70.5	67.5	76.5	77.0	84.0	87.0	85.0	78.0	72.5	68.5	71.0	76.0

## 6. 平均日照時間(hr)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年 總
濟州市	74.4	104.2	174.5	185.6	217.8	138.8	220.5	246.4	171.5	185.5	138.5	80.8	1,925.
西歸浦	153.4	153.3	198.4	158.2	186.3	152.2	128.1	217.1	185.6	202.8	175.3	380.5	2,291.
大 靜	121.6	110.3	188.3	186.5	229.7	221.5	249.8	267.8	26.4	207.0	179.3	131.5	2,295.
城山浦	124.9	122.7	205.7	194.9	216.0	222.0	237.5	282.1	215.3	197.8	183.4	143.5	2,362.

## 7. 平均日照率(%)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
濟州市	24	34	48	47	51	46		0	48	43	45	28	45
西歸浦	45	47	54	39	44	38	32	52	50	58	56	44	47
大 靜	39	36	51	48	55	51	58	50	56	59	57	43	57
城山浦	40	40	56	50	51	52	54	68	68	54	59	45	53

## 8. 平均風速(n/s)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
濟州市	6.6	5.7	4.9	4.3	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	4.2	4.6	5.7	4.5
西歸浦	4.7	3.9	3.8	4.0	3.5	3.1	3.2	3.5	4.0	4.1	3.6	3.7	3.7
大 靜	5.5	5.5	5.2	4.3	4.8	4.0	4.3	4.1	3.5	4.4	5.6	5.4	4.7
城山浦	4.1	4.5	4.9	3.3	3.5	2.6	3.7	3.4	2.7	3.2	3.7	4.0	3.6

### IV 濟州島 常綠潤葉樹 目錄

1975年 3月 現在까지 發表된 9篇의 文獻을 調査檢討하고 그 結果를 綜合 作成하여 1964年에 改訂된 Engler氏의 新分類體系에 따라 配列하였고 筆者가 採集確認된 種을 本人의 目錄으로 追加하였다. (\*表는 自然分布地 確認이 不可能한 樹種)

The list of evergreen broadleaved trees on Jeju island.

- Spermatophyta.
- Angiospermae.
- Dicotyledoneae.
- Archichlamydeae.
- Choripetalae.

1) 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8) 9) 10)

中井	森	植木	朱尙宇	李德鳳	鄭台鉉	文公部	李一球	楊·金	吳相哲
----	---	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(1) Juglandales.

1) Myricaceae.

1. *Myrica rubra* Sieb et Zucc.

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(2) Fagales.

2) Fagaceae.

- 2. *Castanopsis cuspidata* Schottky.
- 3. *C. cuspidata* var *Thunb*(Maki) Nakai.
- 4. *Quercus acuta* Thunb.
- 5. *Q. gilva* Blume.
- 6. *Q. glauca* Thunb.
- 7. *Q. myrsinaefolia* Blume.
- 8. *Q. stenophylla* Makino.
- 9. *Q. stenophylla* var *latifolia* Nakai.

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(3) Ultrales.

3) Moraceae.

- 10. *Ficus niponica* Fran & Sava.
- 11. *F. pumila* L
- 12. *F. stipulata* Thunb.

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(4) Santalales.

4) Loranthaceae.

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
13. <i>Bifaria japonica</i> (Thunb)Van Tiegnem.	○				○	○	○		○	○
14. <i>Scurrula yadoriki</i> (Sieb)Denser.	○				○	○	○		○	○
15. <i>Viscum coloratum</i> (Koma) Nakai for <i>lutescens</i> (Maki) Kita.	○				○	○	○		○	○
<b>(5) Magnolales.</b>										
5) Schisandraceae.										
16. <i>Kadsura japonica</i> (L) Dunal.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6) Illiciaceae.										
17. <i>Illicium anisatum</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7) Lauraceae.										
18. <i>Actinodaphne lancifolia</i> Meissn.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. <i>Cinamomum camphora</i> (L) Sieb.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. <i>C. japonicum</i> Sieb.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. <i>Fiwa japonica</i> (Thunb) S.F.Gmelin.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22. <i>Machilus japonica</i> Sieb & Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23. <i>M. rimosa</i> Blume var <i>Thunb</i> (Sieb&Zucc)Nakai.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24. <i>M. rimosa</i> Blume var <i>Thunb</i> for <i>obobata</i> Nakai.		○			○		○		○	
25. <i>Neolitsea aciculata</i> (Blume) Koidzumi.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26. <i>N. sericea</i> (Blume) Koidzumi.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>(6) Ranunculales.</b>										
8) Lardizabalaceae.										
27. <i>Stauntonia hexaphylla</i> (Thunb) Decai.	○		○	○	○	○	○		○	○
<b>(7) Piperales.</b>										
9) Piperaceae.										
28. <i>Piper kadzura</i> (Chois)Ohwi.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10) Chloranthaceae.										
29. <i>Saracandra graber</i> (Thunb) Nakai.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>(8) Guttiferales.</b>										
11) Theaceae.										
30. <i>Camellia japonica</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31. <i>Cleyera ochracea</i> Dc.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32. <i>Eurya emarginata</i> (Thunb) Makino.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33. <i>E. japonica</i> Thunb var <i>montana</i> Blume.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34. <i>Ternstroemia mokof</i> (Adanson)Nakai.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(9) **Rosales.**

## 12) Hamamelidaceae.

- 35.
- Distylium racemosum*
- Sieb & Zucc var
- typicum*

Nakai, ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

## 13) Pittosporaceae.

- 36.
- Pittosporum tobira*
- (Thunb) Aiton fill,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

## 14) Rosaceae.

- 37.
- Rhaphiolepis liukuensis*
- (Koidz) Nakai,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

- 38.
- R. ovata*
- Briat,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

- 39.
- R. umbelata*
- (Thunb) Makino

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

- 40.
- R. buergeri*
- Miquel,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(10) **Geraniales**

## 15) Daphniphyllaceae.

- 41.
- Daphniphyllum glaucescens*
- Blume,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

- 42.
- D. macropodium*
- Miquel,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(11) **Rutales.**

## 16) Rutaceae.

- \*43.
- Citrus aurantium*
- L,

○ ○

- 44.
- C. deliciosa*
- Tonore,

○ ○ ○

- \*45.
- C. nobilis*
- Makino,

○ ○

- \*46.
- C. sinensis*
- Engler,

○

- \*47.
- C. junos*
- Makino,

○ ○

- 48.
- Zanthoxylum planispinum*
- Sieb & Zucc,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(12) **Celastrales.**

## 17) Aquifoliaceae.

- 49.
- Ilex cornuta*
- Lindley & Paxton for
- typica*
- Loes,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

- 50.
- I. crenata*
- Thunb var
- microphylla*
- Maxim,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

- 51.
- I. integra*
- Thunb var
- typica*
- Maxim,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

- 52.
- I. rotunda*
- Thunb,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

## 18) Celastraceae.

- 53.
- Euonymus chibai*
- Makino

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

- 54.
- Masakia japonica*
- Nakai,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

- 55.
- M. radicans*
- Nakai,

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

## 19) Buxaceae.



- |  | 1) | 2) | 3) | 4) | 5) | 6) | 7) | 8) | 9) | 10) |
|--|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| *56. <i>Buxus koreana</i> Nakai.                                     |    |    |    |    | ○  | ○  | ○  |    | ○  |     |
| *57. <i>B. koreana</i> Nakai var <i>insularis</i> Nakai ex Kawamoto. |    |    |    |    |    |    |    |    | ○  |     |
| *58. <i>B. microphylla</i> Sieb & Zucc.                              | ○  | ○  |    |    |    |    |    |    |    |     |

(13) Malvales.

20) Elaeocarpaceae.

- |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 59. <i>Elaeocarpus zollingeri</i> K. Koch. | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

(14) Thymelaeales.

21) Thymelaeaceae.

- |                                    |   |   |   |   |   |  |  |   |   |   |
|------------------------------------|---|---|---|---|---|--|--|---|---|---|
| 60. <i>Daphne kiusiana</i> Miquel. | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  | ○ | ○ | ○ |
|------------------------------------|---|---|---|---|---|--|--|---|---|---|

22) Elaeagnaceae.

- |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 61. <i>Elaeagnus glabra</i> Thunb var <i>euglabra</i> (Serve) Nakai. | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 62. <i>E. glabra</i> Thunb var <i>oxyphylla</i> (Serve)Nakai.        |   |   |   |   |   | ○ |   | ○ |   | ○ |
| 63. <i>E. macrophylla</i> Thunb.                                     | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 64. <i>E. maritima</i> Koidzumi.                                     |   |   | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ | ○ | ○ |
| 65. <i>E. pungens</i> Thunb.   | ○ | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 66. <i>E. submacrophylla</i> Servettaz.                              |   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

(15) Violales.

23) Flacourtiaceae.

- |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 67. <i>Xylosma congestum</i> (Loureiro) Merrill. | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

(16) Umbellales.

24) Cornaceae.

- |  |   |   |   |   |   |  |  |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|--|--|---|---|---|
| 68. <i>Aucuba japonica</i> Thunb var. <i>typica</i> Nakai. | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  | ○ | ○ | ○ |
|--|---|---|---|---|---|--|--|---|---|---|

25) Araliaceae.

- |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| *69. <i>Fatsia japonica</i> Decaisne & Blanchon. |   |   |   |   |   |   |   | ○ | ○ | ○ |
| 70. <i>Hedera tobleri</i> Nakai.                 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 71. <i>Textoria morbifera</i> (Leveille) Nakai.  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

Metachlamydeae.

Sympetalae.

(17) Ericales.

26) Ericaceae.

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
72. <i>Oxycoccus quadripetala</i> Gilibert.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73. <i>Rhododendron davricum</i> L.	○	○			○	○	○		○	
74. <i>R. fauriei</i> Fanchet var <i>roseum</i> Koidz.					○		○		○	
75. <i>R. fauriei</i> Franchet var <i>rufescens</i> Nakai.					○				○	
27) Empetraceae.										
76. <i>Empetrum nigrum</i> L. var <i>asiaticum</i> Nakai.	○	○			○	○	○		○	○
(18) Primulales.										
28) Myrsinaceae.										
77. <i>Ardisia japonica</i> Blume.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78. <i>A. crenata</i> Sims.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79. <i>A. crispa</i> D C.	○		○	○	○		○	○	○	○
80. <i>A. pusilla</i> D C.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(19) Ebenales.										
29) Symplocaceae.										
81. <i>Symplocos prunifolia</i> Sieb et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(20) Oleales.										
30) Oleaceae.										
82. <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb.	○		○	○	○	○	○	○	○	○
83. <i>L. lucidum</i> Aiton.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(21) Gentianales.										
31) Loganiaceae.										
84. <i>Gardneria insularis</i> Nakai.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32) Apocynaceae.										
85. <i>Trachelospermum asiaticum</i> (S & Z)Nakai var <i>glabrum</i> Nakai.									○	○
86. <i>T. asiaticum</i> (S & Z) Nakai var <i>intermedium</i> Nakai.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87. <i>T. jasminoides</i> Lemaire.							○		○	○
88. <i>T. majus</i> Nakai.							○		○	○
33) Rubiaceae.										
89. <i>Damnacanthus indicum</i> C. F. Gaertner var <i>genuinus</i> Makino.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90. <i>D. major</i> Sieb & Zucc.							○	○	○	○

1) 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8) 9) 10)

(22) Dipsacales.

34) Caprifoliaceae.

91. *Viburnum awabucki* K Koch.

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

計 34科 73種 18變種

70 58 62 67 81 66 75 67 79 73

- 1) 中井氏의 目錄은 1914年 濟州島並莞島植物調査書에 收錄된 濟州道所產 植物目錄中에서 常綠闊葉 樹種만을 뽑아 作成했으며 Moraceae의 *Ficus pumila* L. 키호이타비를 예기모 탐으로, 같은科的 *Ficus foveolata* var *macrocarpa* Nakai 一新植物을 *Ficus stipulata* Thunb 왕모탐으로, Lauraceae의 *Machilus longifolia* Bl 아라갯살 *Machilus japonica* Sieb & Zucc 센달나무로, Celastraceae의 *Euonymus quelpaeriensis* Nakai 濟州島特産을 *Euonymus Chibai* Makino 삼회나무로, Loganiaceae의 *Pseudogardnera nutans* Rocih 호우라이츠라를 *Gardenia insularis* Nakai 영주치자로 Caprifoliaceae의 *Viburnum odoratissimum* Ker-Gawl 사노고진포크를 *Viburnum awabucki* Koch 아왜나무로 Elaeagnaceae의 *Elaeagnus pungens* Thunb 나프시로그미를 불레나무로 정리하였다.
- 2) 森氏의 目錄은 1928年 濟州島所生植物分布に就て에 收錄된 暖帶系(常綠闊葉系)의 科別 目錄을 檢討하였는데 總 64種으로 밝히고 63種을 記錄하고 있으며 南濟州에 生育하는 樹種 20種中 Lauraceae의 *Machilus japonica* Sieb & Zucc 센달나무와 北濟州에도 生育하는 樹種 7種中 Caprifoliaceae의 *Viburnum awabucki* Koch 아왜나무가 63種의 記錄中에 들어있지 않아 이 2種을 目錄에 包含시켰고 다음의 落葉闊葉樹가 63種의 記錄中에 들어있어서 이 7種을 目錄에서 삭제시켰다.
  1. *Poncirus trifoliata*(L) Rofi 팽자나무
  2. *Sageretia theezans*(L) Brong 상동나무
  3. *Elaeagnus crispa* Thunb var *typica* Nakai 보리수나무
  4. *Polycarpa maxim* Lind ex Car 의나무
  5. *Vitex rotundifolia* Linne fill 순비기나무
  6. *Lonicera japonica* Thunb var *repens*(Sieb) Rehder 인동명굴
  7. *Ligustrum ovalifolium* Hass 왕쥐똥나무
- 3) 植木氏의 目錄은 1941年 植物分佈地理 10卷 2號 朝鮮常綠闊葉樹의 北限에 對하여의 文獻을 入手치 못하였으나 1957年 朱尙宇氏의 韓國暖帶系 常綠闊葉樹의 再檢討에 收錄된 植木氏의 濟州島產 目錄中 Asclepiadaceae의 *Marsdenia tomentosa* Morren et Decaisne 나도은조롱은 草本植物임으로 本種을 除外하고 그대로 引用하였다.
- 4) 朱尙宇氏의 目錄은 1957年 韓國暖帶系 常綠闊葉樹의 再檢討中 韓國暖帶系 常綠闊葉樹 分布調査表에 收錄된 濟州島產 目錄中 *Marsdenia*를 註3과 같은 事由로 除外하였다.
- 5) 李德鳳氏의 目錄은 1957年 濟州島의 植物相에 收錄된 植物目錄中에서 常綠闊葉樹種만을 뽑아 作成하였는데 Lauraceae의 *Machilus longifolia* Bl 긴잎후박나무와 同科의

*Machilus japonica* Sieb & Zucc 센달나무를 異種으로 記錄하고 있어서 本 樹種을 中井氏 目錄中 *Machilus longitolia* Bl. (アオガン(セントアルナム))에 依하여 同一種으로 보고 센달나무로 정리하였다.

- 6) 鄭台鉉氏의 目錄은 1965年 韓國動植物圖鑑 第5卷 植物篇(木草本類)에 수록되어 있는 植物中에서 分布地가 濟州로 기록되어 있는 常綠潤葉樹種中 採集時 越冬葉을 確認할 수 없거나 3月下旬 春芽가 生長하면서 前年生葉이 전부 낙엽되는 4種을 朱尙宇氏의 韓國暖帶系 常綠潤葉樹의 再檢討中 韓國暖帶系 常綠潤葉樹로서 取扱할 수 없는 8種의 기록에 依하여 目錄에서 除外시켰다.
1. *Ficuse recta* Thunb 천선과나무
  2. *Ficus erecta* Thunb var Sieb & Zucc 찻꼭지나무
  3. *Sageretia theezans*(L) Brong 상동나무
  4. *Vitex rotundifolia* L, fill 순비기나무
- 7) 文化公報部의 目錄은 1968年 天然保護區域 漢拏山 및 紅島 漢拏山 學術調查報告書의 常綠樹目錄中에서 常綠潤葉樹를 검토하였는데 註6에서 除外된 ① 천선과나무 ② 가는잎천선과나무 ③ 상동나무와 下記 落葉潤葉樹 1種이 目錄에 包含되고 있어 計 4種을 除外하였다.
- ④ *Diapensia ovobata*(Fr, Sch) Nakai 암매
- 8) 李一球氏의 目錄은 1972年 原色科學大事典 6卷 植物篇에 수록된 常綠潤葉樹의 種數와 分布表中 濟州産 目錄을 검토하였는데 Pittosporaceae의 *Pittosporum tobira*(Thunb) Aiton fill을 돈나무와 섬나무로 二重記錄되어 있고 Apocynaceae의 *Trachelospermum asiaticum* (S & Z) Nakai var *intermedium* Nakai 마삭줄을 마삭덩굴과 겨우살이덩굴로 重複 記錄되고 있어 이 두 種을 註4에 依해 各各 同一種으로 보고 돈나무와 마삭줄로 정리하였고 ① 천선과나무 ② 찻꼭지나무 ③ 상동나무 3種을 註 6과 같은 事由로 目錄에서 除外하였다.
- 9) 楊麟錫·金源氏의 目錄은 1972年 鳥物分類學會誌 韓國南部 島嶼에 對한 常綠潤葉樹의 分포와 氣候要因과의 關係에 수록된 濟州島産 目錄을 검토하였는데 Moraceae의 *Ficus stipulata* Thunb 에기모람을 왕모람으로 訂正하였고 ① 찻꼭지나무 ② 상동나무 ③ 털상동나무 ④ 순비기나무 4種을 註6과 같은 事由로 目錄에서 除外하였다.
- 10) 吳相哲의 目錄은 以上 9篇의 目錄을 검토하여 作成된 91種의 濟州島産 常綠潤葉樹目錄을 가지고 1974年 2월부터 1975年 3월까지 採集確認된 目錄이며 濟州島産 自然分地域을 밝힌 것이다.

## V 常綠闊葉樹의 問題種

暖地性 常綠闊葉樹種으로서 問題種은 1957年 朱尙宇氏가 15種을 提示하고 그 中에 6種을 常綠闊葉樹로, 9種을 非常綠樹種으로 取扱한 바 있고 牧野氏 岡本氏의 圖鑑에도 落葉性으로 記錄되고 있으며 筆者가 3月 15日과 16日 最終採集時에 確認한 바로도 山房山 安德溪谷 日出峯地域에서 *Ficus*, *Sageretia*, *Vitex*의 越冬葉을 찾아 볼 수 없었고 *Lonicera*만이 少數의 越冬葉을 볼 수가 있었다. 常綠闊葉樹中에서도 *Rutaceae*, *Citrus*屬의 5種中 野生種으로 確認할 수 있는 種은 섭섭에 自生하고 있는 홍꿀 二株밖에 없고 다른 種은 人家에 植栽된 것으로 種鑑別이 大端 어려우며 野生種을 찾아 볼 수 없어 또다른 問題種으로 提示하나 濟州島의 自生種으로 하느냐 外來種으로 할 것이냐 하는 問題에 對해서는 더 調査하고 研究해야 할 必要性을 느껴 *Citrus* 4種 *Buxaceae* 3種 *Araliaceae* 1種을 綜合目錄에 包含시켜 두었으며 綜合目錄에서 削除된 種은 다음의 8種이다.

1. *Ficus erecta* Thunb 천선과나무
2. *Ficus erecta* var *longe-pedunculata* Nakai 긴꼭지천선과나무
3. *Ficus erecta* var *Sieb*(Mig) King 젓꼭지나무
4. *Sageretia theezans*(L) Brong 상동나무
5. S. Var *tomentosa* C, K, Schn 털상동나무
6. *Vitex rotundifolia* Linne fill 순비기나무
7. *Ligstrum ovalifolium* Hass 왕취뽕나무
8. *Lonicera japonica* Thunb Var *repens*(Sieb) Rehber 인동명귀

## VI 濟州島 常綠闊葉樹의 地域別 分布

調査地域의 順序는 便宜上 海拔 300m 以下の 地域을 海岸地帶, 300m에서 600m 사이를 中山間地帶, 600m 以上을 漢拏山地帶로 區分하고 海岸地帶는 西歸邑에서 始作하여 東쪽으로 行政區域에 따른 自然部落順이며 中山間地帶는 山南에서 始作하여 上北의 順이고 漢拏山地帶는 高度에 따른 山과 溪谷順 그리고 白鹿潭을 向한 東西南北의 登山路順에 따라 整理하였다.

## VII 結 論

① 9篇의 目錄을 檢討하고 綜合目錄을 作成한 結果 濟州島產 常綠潤葉樹의 種數는 34科 73種·18變種이다.

이 目錄中에는 落葉性으로 問題되는 8種이 削除되어있고 常綠潤葉樹種이면서 野生樹種을 確認할 수 없는 8種이 包含되어 있다.

目 錄 檢 討 表

&lt;表 1&gt;

年 令	發 表 者	種 數	備 考
1914	中 井	34科 70種	植物目錄 및 帶別樹種目錄中
1928	森	32科 65種	落葉樹種 7種 包含
1941	植 木	32科 63種	草本植物 1種 包含
1957	朱 尙 宇	32科 68種	草本植物 1種 包含
1957	李 德 鳳	34科 82種	植物目錄中 二重記錄 1種
1965	鄭 台 鉉	36科 70種	植物圖鑑中 落葉樹種 4種 包含
1953	文 公 部	34科 79種	落葉樹種 4種 Citrus屬 4種 包含
1972	李 一 球	35科 72種	二重記錄 2種 落葉樹種 3種 包含
1972	楊 金	35科 83種	落葉樹種 4種 Citrus屬 3種 包含
1975	吳 相 哲	33科 73種	自然分布地域確認種

② 筆者가 濟州島內 62個 地域의 常綠潤葉樹 分布調查에서 採集確認된 樹種은 32科 58種 15變種으로 綜合目錄 91種中에서 73種의 自然分布地域을 밝혔다.

③ 自然分布地域을 밝히지 못한 18種中 Rutaceae의 Citrus 4種, Buxaceae의 Buxus 3種, Araliaceae의 Fatsia 1種은 現在까지의 採集經驗으로 보아 野生樹種을 確認하기는 不可能하며 이 8種을 除外한 10種에 對해서는 分布地 確認을 爲하여 앞으로의 採集活動에 努力하였다.

④ 濟州島內 常綠潤葉樹의 分布는 漢拏山을 中心으로 海拔 600m 以下の 山南 海岸地帶에 가장 많이 分布되고 있으며 山東 山西 山北의 順으로 점차 樹種이 줄고 있고 海拔高度에 따라서도 顯著하게 줄고 있다.







面別로 分布狀態를 調査하여 보면 西歸邑 安德面 中文面 南元面 城山面 順으로 1個所에 30種 以上이 分布되고 있는 地域은 다음의 5個所이다.

## 30 種 以上 分布 地域

&lt;表 2&gt;

地	域	種 數	所	在	地
山	房	山	36種	南濟州郡	安德面 和順里
孝	敦	川	34種	南濟州郡	西歸邑 新孝里
直	射	橋	33種	南濟州郡	西歸邑 法護村
道	順	川	33種	南濟州郡	中文面 道順里
倉	川	溪	30種	南濟州郡	安德面 倉川里

⑤ 山房山 倉川溪谷 孝敦川 食山峰 直射橋 등의 地域에서는 常綠闊葉樹種에 아직도 人爲的인 被害가 加해지고 있어 보다 積極的인 保護策이 要望되며 濟州島 自生常綠闊葉樹種의 人爲的인 繁殖이 必要하다.

## 參 考

1. 1914年 中井 濟州島 植物調査報告書
2. 1928年 森 濟州島所生 植物分ニ就テ
3. 1928年 石戶 濟州島의 植物と 將來의 問題
4. 1928年 鄭台鉉外 3人 朝鮮植物郷名集
5. 1928年 武藤 濟州島의 生物界에 對する 新考察
6. 1938年 村越 圖說 植物辭典
7. 1941年 植木 朝鮮 常綠闊葉樹의 北限에 就テ
8. 1949年 朝鮮植物學會 朝鮮植物名集Ⅱ卷 木本類
9. 1957年 鄭台鉉 韓國植物圖鑑 上卷 木本部
10. 1957年 朱尙宇 韓國 暖帶系 常綠闊葉樹의 再檢討
11. 1957年 李德鳳 濟州島의 植物相
12. 1958年 宋正浩 濟州島 植物分布에 對하여, 濟州師範校誌 眞理 第4號
13. 1959年 鄭台鉉 한국동식물도감 제5권 식물편 (목초분류)
14. 1961年 牧野 新日本植物圖鑑
15. 1961年 吳相哲 植物採集記, 濟州師範校誌 眞理 第8號
16. 1963年 村越 原色植物大圖鑑 12, 13卷
17. 1966年 岡本 標準 原色圖鑑 樹本
18. 1968年 石戶 採集地別 原色 野外植物 檢索大圖鑑

19. 1968年 伊藤新 高等植物分類表
20. 1968年 文公部 漢拏山學術調查報告書
21. 1969年 岡本原色 日本樹木圖鑑
22. 1969年 吳相哲 濟州産 常綠潤葉樹의 研究 [I] 濟州教大學報 瀛友 第9號
23. 1970年 吳相哲 濟州産 常綠潤葉樹와 20個 地域과의 分布比較 [II] 濟州教大學報 瀛友 第10號
24. 1971年 明大 大韓民國 濟州島 學術調查報告
25. 1971年 吳相哲 濟州島 植物調查報告 濟州教大 論文集 第2輯
26. 1972年 李一球 常綠潤葉樹의 種數와 分布表 原色科學大事典 植物篇
27. 1972年 楊麟錫·金源 韓國 南部島嶼에 對한 常綠潤葉樹의 分포와 氣象要因과의 關係, 植物分類學會誌
28. 1973年 堀原色 植物觀察圖鑑
29. 1973年 矢野原色 樹木檢索圖鑑
30. 1974年 濟州道 第14回 統計年報
31. 1930年~1974年 中央觀象台 氣象年報 및 氣象月報
32. 1974年 佐竹義輔 植物の分類 -基礎と方法
33. 1968年 吳桂七 漢拏山의 植物分布 59~89.

## —Summary—

# A study of the distribution of broadleaved evergreen trees on Je Ju Island

by

Oh, Sang-Chul

I review in this study the list of broadleaved evergreen trees native to Je Ju Island as published so far by six scholars. I also found descriptions of broadleaf evergreen trees in wider lists of plants native to Je Ju Island published by three other scholars. I included them in this study.

I divide the broadleaved evergreen trees as reported by these 9 scholars into 36 families, 82 species and 26 varieties. Among the 82 species and 26 varieties, I found 16 of them needed further study. And so I examined them in detail.

I place these 16 species into two groups. The first group consists of those trees which shed their leaves in the fall, or in the spring when the new buds come out. The second group consists of those trees which I personally could not find during my extensive search of 62 regions on Je Ju Island.

I removed the first group from my list of broadleaved evergreen trees native to Je Ju Island since they are not truly evergreen. I did not remove the second group from my list since they might be found on the island during further research.

Of the total list of 91 species as reported by the above 9 scholars, I have located 73 species in the 62 areas of Je Ju Island that I researched.

**[1] First group****I Moraceae**1) *Ficus erecta* Thunb

- 2) F.                            var longe-pedunculata Nakai  
3) F.                            var Seib(Miq) King

## II Rhamnaceae

- 4) Sageretia theezans(L) Brong  
5) S.                            var tomentosa C. K. Schn

## III Verbenaceae

- 6) Vitex rotundifolia Linne fill

## IV Oleaceae

- 7) Ligstrum ovalifolium Hass

## V Capritoliaceae

- 8) Lonicera japonica Thunb var repens(Sieb) Rehber

## [2] Second group

### I Rutaceae

- 1) Citrus aurantium Linne  
2) C.        nobilis Makino  
3) C.        sinensis Engler  
4) C.        junos Makino

### II Buxaceae

- 5) Buxus koreana Nakai  
6) B.                            var insulalis Nakai ex Kawamoto  
7) B.                            microphylla Sieb & Zucc

### III Araliaceae

- 8) Fatsia japonica Decaisne & Planchon